

# 2017 年度 JSFF 総会

2018/03/03

## 2017年度 JSFF 総会タイムテーブル

3/3 土			概要	主担当	備考
9:00	～	9:15	会場準備 スカイプ準備		資料はクラウドを利用
9:15	～	9:30			
9:30	～	9:45	自己紹介		
9:45	～	10:00	今年度の活動報告・反省	今年度の役職持ち	発表者は報告書を基に 現状や問題点・大会状況等を報告 聞く側は適宜気になった点を質問し 学連が抱える問題点を整理する
10:00	～	10:15			
10:15	～	10:30			
10:30	～	10:45			
10:45	～	11:00			
11:00	～	11:15			
11:15	～	11:30			
11:30	～	11:45	新役員承認・規約改廃	理事長・新理事長	
11:45	～	12:00	来年度のスケジュール調整	新旧地区理事	大会日程の調整など
12:00	～	12:15	昼休み		大学とかでやる地区が多いし 1時間あれば足りるよね…
12:15	～	12:30			
12:30	～	12:45			
12:45	～	13:00			
13:00	～	13:15	会計報告	会計	決算報告 補助金利用状況報告 補助金増減額の検討等
13:15	～	13:30			
13:30	～	13:45			
13:45	～	14:00			
14:00	～	14:15	総会のやりかたについて	理事	交通費支給をどうするか 来年度もスカイプでやるか等
14:15	～	14:30			
14:30	～	14:45	情報共有どうするか	理事長	サイボウズライブサービス終了に伴うもの
14:45	～	15:00	キリの良いところで小休憩		
15:00	～	15:15	指摘された問題点の討論	来年度の役職持ち	
15:15	～	15:30			
15:30	～	15:45			
15:45	～	16:00			
16:00	～	16:15			
16:15	～	16:30			
16:30	～	16:45			
16:45	～	17:00	片づけ		

# ●日本学生フライヤー連盟規約●

## (名称)

【第1条】 本連盟は日本学生フライヤー連盟と称する。

## (目的)

【第2条】 本連盟は、学生のスカイスポーツの振興を図ることによって、学生間のネットワークの拡大及び交流、技術と安全性の向上、大会・合宿参加者の増加、さらには学生フライヤーの増加によるスカイスポーツ界全体の発展、活性化を目的とするものである。

## (組織)

【第3条】 本連盟は全国の学生スカイスポーツサークル及び学生フライヤー、ならびに後援者により構成される。

## (会員)

【第4条】 本連盟の会員は、次に挙げる各地区連盟により構成される。

- (1) 東北支部
- (2) 関東支部
- (3) 関西支部
- (4) 北陸支部
- (5) 中国支部
- (6) 九州支部

## (事業内容)

【第5条】 本連盟は第2条の目的を達成する為に、次の活動を行う。

- (1) スカイスポーツに関する催事、大会の実施及び運営。
- (2) スカイスポーツの安全に関する指導、啓蒙。
- (3) スカイスポーツの振興のため、各自治体機関への協力要請、及び指示に基づいた情報交換。
- (4) 各地区連盟間のネットワークの構築。
- (5) その他、本連盟の目的の遂行に必要な事業。

## (役員)

【第6条】 本連盟に次の役員を置く。

- (1) 理事長 1人
- (2) 副理事長 3人
- (3) 顧問 2人
- (4) 会計 1人
- (5) 広報 2人
- (6) メーリングリスト・名簿係 1人
- (7) ホームページ係 1人
- (8) ハンググライダー学生リーグ事務局 4～5人(うち2人は審議)
- (9) パラグライダー学生リーグ事務局 4～5人(うち2人は審議)
- (10) 地区連盟理事 6人

## (役員を選出)

【第7条】 役員は総会において前任者の指名により選出する。総会後に役員の変更等がなされた場合は速やかに役員全体に告知する。

## (任期)

【第8条】

- [1] 役員は任期は1年とする。ただし、役員は任期途中において役員の変更があった場合は、任期は前任者の残任期間とする。
- [2] 役員は、その任期が満了した場合においても、後任者が就任するまではその職務を行うものとする。

## (職務)

### 【第9条】

- [1] 理事長は本連盟を代表し会議の議長となり、会務を統括する。理事会を組織し、催事や規約等の承認を行う。本連盟の代表として、公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟(以下 JHF)事務局、各都道府県連盟及びNPO 法人 日本パラグライダー協会(以下 JPA)と連携を行う。
- [2] 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故ある時はその職務を代行する。理事長、会計と共に理事会を構成し、催事や規約等の承認を行う。また、副理事長はそれぞれ学生リーグ事務局と地区連盟を統括し、各種問い合わせに対応する。
- [3] 会計は本連盟の会計及び会計監査する。また、催事や大会の承認を行う。
- [4] 広報は隔月で JHF が発行する機関紙における本連盟スペースの記事作り及び本連盟への窓口となる。本連盟の公式 facebook や Twitter の管理を行う。
- [5] メーリングリスト・名簿係は、本連盟に加盟している学生の名簿を作成し整理し、メーリングリストやオンラインストレージの管理を行う。
- [6] ホームページ係は本連盟のホームページの企画及び本連盟に関する競技結果を整理する。リーグと協力してリーグのページを管理する。
- [7] ハンググライダー学生リーグ事務局はハンググライダーにおける大会、合宿及びリーグ戦を統括する。
- [8] パラグライダー学生リーグ事務局はパラグライダーにおける大会、合宿及びリーグ戦を統括する。
- [9] 地区連盟理事は理事長に協力し、会務を執行する。

\* 日本学生フライヤー連盟ホームページ : <http://jsff.org/>

\* 日本学生フライヤー連盟競技用アドレス : [jsff.kyogi@gmail.com](mailto:jsff.kyogi@gmail.com)

\* 日本学生フライヤー連盟問い合わせ用アドレス : [jsff.toiawase@gmail.com](mailto:jsff.toiawase@gmail.com)

## (会議)

【第10条】 本連盟の会議は、総会及びオンラインを利用した通話やチャットにて行う。

### (総会)

【第11条】 総会は毎年1回開くほか、必要に応じて臨時に開くことが出来る。総会に付議する議事は次のとおりとする。

- (1) 前年度の活動報告及び反省に関すること。
- (2) 規約の改廃に関すること。
- (3) 大会、合宿及びリーグ戦の計画に関すること。
- (4) 予算および決算に関すること。
- (5) 役員を選出及び引継ぎと承認に関すること。
- (6) その他の重要事項。

### (理事会)

【第12条】 理事長と副理事長、会計によって構成される。

### (決議)

【第13条】 理事会に提出された議題については理事会の議決は理事会の全会一致で可決とする。

学連に提出された議題については役員で審議し、期日までに回答した役員の過半数と理事会全員の賛成があれば可決とする。

可決した内容については即座に会員全体へ通知するよう努めなければならない。

### (経費)

【第14条】 本連盟の経費は、補助金及び本学連加盟費を持ってこれに充てる。

### (会計年度)

【第15条】 本連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

旧年度の会計は会計の締日から2か月以内に会計報告を学連に提出する。

(大会)

**【第16条】** 本連盟に関する大会は公認大会と後援大会に分類される。  
公認大会とは学連が定めた競技規定にのっとり学連地区支部が主催する大会のうち、学連が公認を与えたものをいう。  
後援大会とは主催者の申請を受け、学連において一定の審査を経て後援を与えたものをいう。

(その他)

**【第17条】** この規約に定めのない事項は、理事長がオンライン会議等を議論の場とし役員に諮って定める。

(附 則)

この規約は、平成28年4月1日より施行する。

[改正] 平成26年7月20日  
平成28年3月12日

## 2017 年度 JSFF 役員名簿

役職		氏名	所属		
			支部	大学	サークル
理事長		堀 聡史	関東支部	日本大学	EPO
副理事		田邊 万作	東北支部	秋田大学	WindChaser
副理事		榎崎 凌伍	関西支部	大阪大学	P.F.C.
会計		桐谷 蒼介	関東支部	東京工業大学	Sylph
広報		大西 里佳	関東支部	日本大学	EPO
		目次 奈菜	関東支部	立教大学	立教大学ハンググ & パラグライディングクラブ
		福田 みずき	関西支部	京都工芸繊維大学	Zephyr
HP 管理		鈴木 匠	関東支部	東京工業大学	Sylph
メーリングリスト・名簿係		福田 峻也	九州支部	九州工業大学	WindEye
渉外係		名草 慧	関西支部	近畿大学	RIDGE RIDERS
ハンググライディング 学生リーグ事務局	審議委員	板橋 宏樹	関東支部	東京工業大学	Sylph
	審議委員	中井 雅典	関西支部	近畿大学	RIDGE RIDERS
		吉田 拓磨	関東支部	立教大学	立教大学ハング & パラグライディングクラブ
		中西 亮太	関西支部	近畿大学	RIDGE RIDERS
		山下 賢人	九州支部	九州大学	SKY JACK
パラグライディング 学生リーグ事務局	審議委員	川名 正人	関東支部	日本大学	EPO
	審議委員	三上としき	東北支部	弘前大学	FreeWave
	審議委員	山本 寛都	東北支部	山形大学	YUPC
		齋藤 裕一	関東支部	千葉大学	EROSPAC
		池田 隆人	東北支部	弘前大学	FreeWave
		小林 誉志夫	東北支部	山形大学	YUPC
地区連盟理事	東北支部	田村 宏太	東北支部	山形大学	YUPC
	北陸支部	安藤 優希	北陸支部	福井県立大学	solyers
	関東支部	河井 靖子	関東支部	東京都市大学	SKYVIEW
	関西支部	鳥居 仰	関西支部	立命館大学	Zephyr
	中国支部	徳久 晶大	中国支部	山口大学	SKYDUST
	九州支部	中島 翼	九州支部	九州大学	SKY JACK

## 2018 年度 JSFF 役員名簿

役職		氏名	所属		
			支部	大学	サークル
理事長		墨 幹	関東支部	東京工業大学	sylyph
副理事		大和田 濟熙	東北支部	秋田大学	WindChaser
副理事		鳥居 仰	関西支部	立命館大学	P.F.C.
会計		増田 隆	関東支部	東京工業大学	sylyph
広報	HG	是永 珠咲	関西支部	立命館大学	Zephyr
	PG	未決定			
HP 管理		小野寺 将	関東支部	東京工業大学	Sylph
メーリングリスト・名簿係		大森 皓貴	九州支部	九州工業大学	WindEye
渉外係		河井 靖子	関東支部	東京都市大学	SKYVIEW
ハンググライディング 学生リーグ事務局	審議委員	吉田 拓磨	関東支部	立教大学	立教大学ハング & パラグライディングクラブ
	審議委員	中西 亮太	関西支部	近畿大学	RIDGE RIDERS
		永井 敢太	関東支部	東洋大学	ALBATROSS
		齋藤 燎	関西支部	鳥取大学	FLYDOM
パラグライディング 学 生リーグ事務局	審議委員	齋藤 裕一	関東支部	千葉大学	EROSPAC
	審議委員	小林 誉志夫	東北支部	山形大学	YUPC
	審議委員	池田 隆人	東北支部	弘前大学	Freewave
		瀬良 駿太	関東支部	日本大学	EPO
		若松 大志	東北支部	弘前大学	freewave
		上石 一葵	東北支部	山形大学	YUPC
地区連盟理事	東北支部	明円 雅人	東北支部	弘前大学	freewave
	北陸支部	目黒 雄大	北陸支部	福井県立大学	solyers
	関東支部	平井 聡雄	関東支部	日本大学	EPO
	関西支部	金 昊嬰	関西支部	大阪大学	P.F.C.
	中国支部	松本 彩	中国支部	山口県立大学	SKYDUST
	九州支部	田中 翔馬	九州支部	九州工業大学	WindEye

## 2017年度 理事長 活動報告書

報告者 堀 聡史 (日本大学理工学部ハングライダー部)

\*委員活動報告書を書く上での注意

- ・形式は自由です。以下には例を書いておきます。後任者が見ることを踏まえて詳細で分かりやすい報告書を作成してください。
- ・いったん、提出した活動報告書を修正した場合は、配布のことを考えて、印刷して総会当日、直接持ってきてください。

### 仕事内容

理事長は対外的にも内部的にも組織の代表としての役割を担う。仕事は次の5つに分類される。

- A 規則・大会等の審査及び公認
- B JHF 事務局への諸連絡・訪問
- C 学連総会計画・実施

#### A 審査及び公認

年間競技規定、各大会・イベントの書類・内容の審査及び公認を行う。該当する役員と共に、主にサイボウズの掲示板内で議論を行う。必要に応じてオンライン会議も行う。審査及び公認を受けて初めて学連の正式な書類・イベントとなる。

#### B JHF 事務局への諸連絡・訪問

主に学連全体に関わる事柄について、JHF 事務局とメールで連絡を行う。内容によっては各地区理事等に引き継ぐ。また、学連を代表して JHF 総会に出席したり、JHF との意見交換会に参加したりする。JHF 総会では正式には発言権を持たないが、総会の場で発言を求められる機会があったり、総会后に事務局や県連の方と話す機会があったりするので、直に学生の声を届けるチャンスと言える。意見交換会では JHF 会長をはじめとする事務局の方と本音トークができる。理想と現実を知り、今の学連には何が必要で、また社会人の方々が何を欲しているか考えるきっかけになるだろう。

#### C 学連総会計画・実施

年度末に学連総会を実施する。今年度の反省をし、来年度の指針と役員を決める。

以上引用 一部加筆修正

## II 今年度の反省点とその改善案

反省とその影響	原因と改善提案
<p>JHF へ会計報告や活動報告、予算、名簿、活動計画などを提出するのが夏になってしまった。</p> <p>書類審査依頼が来ているのに無返答になってしまったことがあった</p> <p>パラ 3 大会目構想の進展がなかった</p>	<p>本来ならば年度初めにすべきところであり、特に JHF が絡む案件では JHF に不信感を抱かれてしまう恐れがある。しっかりと事前準備をし、JHF 総会までには活動報告を済ませ、総会で聞かれたときにしっかり報告できるよう準備すべきである。今後 JPA からの補助を受けることを模索していることも踏まえると、社会人とのやり取りは遅くならないようにしていく必要がある。</p> <p>卒研で忙しかったという理由を使いたくないが、両立できなかった。できるときにちゃんとやる。</p> <p>紀ノ川で冬に学生大会をやりたい。最初は合宿でもいい</p>



<p>知識不足</p> <p>新歓の負担軽減構想も進展がなかった</p>	<p>から。冬飛べない人たちが喜ぶ大会なら人も集まるのではないか。と思っていたけど進展がなかった。2月で模索したら社会人大会と被るし条件良すぎて下手するとPアップって言われ散った。どうしようかな…</p> <p>なににせよパラの学生大会が現状2つしかないのは是正が必要。3つは欲しい。でも今年度は伊豆合宿も頓挫したし道のりは険しいなあ…</p> <p>書類審査ではGPS系全く分かんなかった。自分自身飛びをあまり極められていないのが原因。代わりに保険と会計に関してはだいぶうるさく言ったつもり。HP飛んだ系も全然わかんなかった。全部カバーするのはやっぱ無理。ちゃんとわかる人に仕事を振って、自分は自分に出来るところを補佐する。</p> <p>新歓ビラとか、体験会とか、新歓に関わるお金負担を少しでも減らしていくべきであり、学連で負担する制度を作りたかった。しかし、今年度中の4月のことを議論するには時間が足りず、また来年度の4月のことを来年度の理事と議論するのも(私の時間の都合上)難しかった。現状関東は新歓ビラをJHF負担で発行してもらっているが、他地区もお願いすることは難しい。しかし、地区ごとに新歓で格差が生まれてはいけないと思う。</p>
--------------------------------------	---

<h3>Ⅲ 活動履歴</h3> <p>時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど</p>	
<p><b>4月</b> JHFへ理事長就任報告 学連役員にサイボウズであいさつ 入学前・卒業後意識調査アンケートの実施</p>	<p><b>5月</b> JHFレポート7月号原稿執筆 尾神PSC公認審査開始 砂丘合宿後援審査開始</p>
<p><b>6月</b> 学連員名簿作成 JHF学連意見交換会 JHF総会出席</p>	<p><b>7月</b> nasaS公認審査開始 各種補助金の修正と告知</p>
<p><b>8月</b> JHFへ会計報告、活動報告、活動計画、予算案等を提出 年間競技規定公認 JHFレポート10月号原稿執筆</p>	<p><b>9月</b> PinkCup後援審査開始 PG新人戦公認審査開始</p>
<p><b>10月</b></p>	<p><b>11月</b> JSFF総会の日程決め、告知 HG新人戦公認審査開始 JHFレポート1月号原稿執筆</p>
<p><b>12月</b> HG学選(耳納)公認審査開始 龍門大会公認審査開始 PG学選公認審査開始</p>	<p><b>1月</b> JHF学連意見交換会(2回目)</p>

<b>2月</b> 総会準備	<b>3月</b> JSFF 総会の実施
<b>その他</b> パラ3大会目の開催地模索	

<b>IV 来年度への課題・自分がやり残したこと</b>
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b>
<small>自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。</small>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠征補助金の修正と宣伝          修正内容としては適用範囲の拡大。元々草大会にもっと出てもらおうという仕組みであったが、そもそも大会参加者が少ないのをどうにかしようということで今期から公式大会にも適用。大会出てないのに最終日あたりになぜかいるおじさんとして宣伝もいっぱい回ったし認知はそれなりのはず。来年度は利用率と予算とをにらめっこして、可能ならもっと金額を上昇させるべきと考えている。</li> <li>・JHF 登録補助金の修正と宣伝          今まで申請し放題だったものを条件付きに変更。これも修正した代わりに宣伝はしたからちゃんと認知されているはず。本来ならば JPA の人がいても適用可能な保険を利用したいところではあるが、現状そのような保険はないため、補助金の制度変更で対応とした。それでも、PG と HG 比較すると PG のほうに予算を割いている感は否めない。本来ならばもっと HG・PG 公平に予算が使われるべきであり、是正していく必要がある。</li> <li>・渉外係の誕生          誕生はしたけど年賀状送るくらいしか仕事できなかった。こちらからも指示が出来なかった。大会協賛の連携とか、連絡先の共有とか、もっともっとやっていかなきゃいけないことがあると思うので、次期渉外係は手探りにはなるとは思います頑張ってください。</li> </ul>
<b>B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起</b>
<small>日本学連の将来あるべき姿の提案。問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。</small>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「他の誰かがやってくれるでしょ」感がすごい          役職に複数人いる場合にだけでなく、ひとりしかいない場合でも自分の仕事を放棄して仕事が進まないことあり。複数人いる場合はちゃんと役割分担して、自分の仕事は何か明確化。</li> <li>・社会人に迷惑をかけまくった年          各大会社会人の皆様に多大なる迷惑をかけている。ちゃんと感謝をし、しっかりと報告連絡相談を徹底する。「学生だから仕方ないね」と言われないような大会運営を。</li> <li>・連絡の取り方          LINE が普及し、またサイボウズもサービス終了となる。今後どのように書類審査や各種連絡をするか考える必要がある。</li> </ul>

日本学生フライヤー連盟 2017 年度理事長  
 日本大学理工学部ハンググライダー部 EPO(足尾, nasa) 堀 聡史  
 TEL : 080-2077-1995  
 Mail : [horirin.chari@gmail.com](mailto:horirin.chari@gmail.com)

**仕事内容**

- ・大会・イベント、規定項目の公認審査
- ・新規規約や補助金の制度などの審議
- ・各種システムの不具合の確認

**A 大会・イベントの公認審査**

- ・学生連盟が主催する大会・イベントについてサイボウズに上げられた書類を読み、問題がないか審査、公認を行った。

**B 規定項目の公認審査**

- ・学生連盟が定める規定項目(ハング・パラ年間競技規定、ハラスメント規定)の作成、審査、公認を行った。

**C 各種システムの不具合の確認**

- ・今年度は学連サイトの不具合が多発したのでその代替機能の用意や復旧の確認を行った。

**II 今年度の反省点とその改善案**

反省とその影響	原因と改善提案
・個人的に目標に掲げていた JPA 保険の適用、JPA からの補助金の漕ぎつけに失敗	・学連の予算が大幅に余っておりとても補助金を頼めるような理由が見つからなかった。

**III 活動履歴**

時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど

<b>4月</b> 学連規定改定 JPA への PR 用資料の収集	<b>5月</b> JPA への PR 用資料の収集
<b>6月</b> 鳥取砂丘合宿公認審査 尾上岳 PSC 公認審査	<b>7月</b> HG 学生選手権公認審査 HG リーグ 2017 年間競技規定公認審査
<b>8月</b> PG リーグ 2016 年間競技規定公認審査 伊豆合宿公認審査	<b>9月</b> ピンクカップ公認審査 PG 新人戦公認審査
<b>10月</b> PG 新人戦公認審査	<b>11月</b> HG 新人戦公認審査 サイボウズからの乗り換え先の検討
<b>12月</b>	<b>1月</b> PG 学生選手権の広報作業
<b>2月</b> サイト不具合の確認 エントリーフォーラム等の動作確認 プレ総会 オンライン総会の課題検証	<b>3月</b> 総会
その他	

<p><b>IV 来年度への課題・自分がやり残したこと</b></p>
<p><b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b>  自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は各イベント担当者の書類提出が速やかに行われたので業務が楽だった。感謝。来年度もこの流れを維持してほしい。</li> </ul>
<p><b>B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起</b>  <b>日本学連の将来あるべき姿の提案。</b>問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間リーグ戦というルールがあるわりに各大会の名前が一致していない。尾神岳 ParagliderStudentCup と全日本パラグライダー学生選手権 in 足尾 統一するべきでは？</li> <li>・JSFF のサイトのリザルト機能とかランキング機能、リンクとか機能不全起こしている項目多すぎでは？</li> <li>・今まで書類の共有、議論の場として活用してきたサイボウズが閉鎖されることに伴いシステムの変更が必要</li> <li>・尾上の大会の競技(ディレクション)が年間規定と沿わないので年間競技規定を書き足すべき。</li> </ul>

**仕事内容**

A 大会・イベント、規定項目の公認審査

B 新規規約や補助金の制度などの審議

C 学連メールアカウントの管理

**A 大会・イベント、規定項目の公認審査**

- ・大会・イベント開催に必要な書類について審査を行った。

**B 新規規約や補助金の制度などの審議**

- ・学生連盟が定める規定項目(ハング・パラ年間競技規定、ハラスメント規定)および遠征補助金制度について審査を行った。

**C 学連メールアカウントの管理**

- ・学生連盟あてのメール(主に遠征補助金の申請)を確認した。

**II 今年度の反省点とその改善案**

反省とその影響	原因と改善提案
・メールの確認は遠征補助の申請が多く、会計に協力してもらった。申請受付の返信が遅れて苦情があった。	・既読をつけたら返信して担当者に連絡する。

**III 活動履歴**

<b>4月</b> 学連規定改定	<b>5月</b>
<b>6月</b> 鳥取砂丘合宿公認審査 尾上岳 PSC 公認審査	<b>7月</b> HG 学生選手権公認審査 HG リーグ 2017 年間競技規定公認審査
<b>8月</b> PG リーグ 2016 年間競技規定公認審査 伊豆合宿公認審査	<b>9月</b> ピンクカップ公認審査 PG 新人戦公認審査
<b>10月</b> PG 新人戦公認審査	<b>11月</b> HG 新人戦公認審査
<b>12月</b>	<b>1月</b>
<b>2月</b>	<b>3月</b>
その他	

<b>IV 来年度への課題・自分がやり残したこと</b>
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b>
大会運営の経験を活かして頑張ってもらいたいです。
<b>B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起</b>
特にありません。

# 2017年度 会計 活動報告書

報告者 桐谷 蒼介

\*委員活動報告書を書く上での注意

- ・形式は自由です。以下には例を書いておきます。後任者が見ることを踏まえて詳細で分かりやすい報告書を作成してください。
- ・いったん、提出した活動報告書を修正した場合は、配布のことを考えて、印刷して総会当日、直接持ってきてください。

## 仕事内容

- ・公認審査
- ・学連費の設定、徴収
- ・各補助金申請の受理

### A 公認審査

- ・各イベント(大会など)の3ヶ月程度前にサイボウズ live にアップされる大会必要書類の審査を行う。特に予算案の精査を行い、参加費が適正か、支出項目に無駄や無理がないかをチェックする。
- ・HG,PGの年間競技規定の審査。誤植やわかりづらい表現がないかなどをチェックする。

### B 学連費の設定、徴収

- ・学連総会で話し合った学連費の使い道をもとに予算案を作り、学連費を決定する。支出額を概算し、毎年 JHF から受け取る 30 万円で賄えない分を学連費として徴収する。2017 年度は遠征補助金の適用範囲拡大や、JHF フライヤー登録補助申請の増加見込みがあったこと、2016 度が黒字会計であったことなどから、やや赤字になる様に学連費を設定した。学連名簿から学連加盟者数を確認して、一人当たりの徴収額を決定する。地区ごとに集めもらい、まとめて振り込んでもらう。

### C 各補助金申請の受理

- ・大会遠征費補助(各大会後)、JHF 公認申請料補助(各公認大会前)、JHF フライヤー登録補助(2 月初旬)の申請を受けたら、申請書類を確認し補助金を指定の口座に振り込む。申請は日本学生フライヤー連盟問い合わせ([jsff.toiawase@gmail.com](mailto:jsff.toiawase@gmail.com))に来るので、この gmail アカウントに入れる様にしておく(管理者の承認が必要)。

## II 今年度の反省点とその改善案

反省とその影響	原因と改善提案
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 対応が遅い</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 忘れてた(すいません…)。サイボウズや gmail からの通知がちゃんと来る様にしておくのは必須。</li></ul>

--	--

Ⅲ 活動履歴	
4月	5月
6月 砂丘合宿公認審査	7月 HG,PG 年間規定審査 nasaS 公認審査 尾上岳 PGSD 公認審査
8月 役員名簿の確認・修正	9月 PINKCUP 公認審査 PG 新人戦公認審査
10月	11月 HG 新人戦公認審査 後任者探し
12月 龍門大会公認審査 PG 学生選手権 in 足尾公認審査 学連費見積もり始め	1月 HG 学生選手権 in 耳納公認審査
2月	3月
その他 補助金は申請のあった時に対応する。	

Ⅳ 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2017 年度は学連総会をスカイプ会議で行ったので、2016 年度まで支出の多くを占めていた総会交通費が無くなった。</li> <li>・ 2017 年度より、大会遠征費補助が社会人大会だけでなく学生大会にも適用されるようになった。</li> </ul> <p>* 各申請の届くメディアからの通知をちゃんと設定しておく!!! 関東学連会計との兼任だと思っているので、そこと会計がごっちゃになってしまわない様に気をつけてください。</p>



# 2017 年度 広報活動報告書

報告者：大西里佳

## I 仕事内容

- ・大会に関する告知

## II 大会に関する告知

- ・大会に関する情報を **Twitter**・**Facebook** で告知をする。期限に関しては基本的に早いほうが良い。

### (1) 大会の存在の認知

夏・春休みなどある程度まとめてある場合に。日程と一緒に告知するのが丁度よいか。

### (2) 大会の日程の認知

大会日程が決まり次第やってよい。大会の日に別のスケジュールなどを入れさせないため。

### (3) エントリー開始・終了日時などの告知

早めの事前エントリーを促す。大会当日エントリーはなかつたり、値段が高かつたりする。

### (4) 大会の宣伝(魅力など)

これに関しては順番などはあまりない。適当と思われるタイミングで投稿すればいい。

### (5) 実際に大会に関するツイート、RT

主に大会期間中にやる。自分が参加している場合は積極的にやっていく。

- ・ 大会の運営スタッフとうまく連携を取ってやる必要がある。

(JSFF 役員の line グループなどから連絡を取るとスムーズ)

- ・ 基本的には大会運営側から広報に情報を伝達→広報が発信という流れが理想

- ・ 大会スタッフにアカウントの権限をあげることも可能。

(スタッフの自由に動かせた方が良くならそうするのが良い。)

- ・ 実際には大会ごとに **Twitter** アカウントが作られてしまったりする。大会の運営の判断ではあるが。そういう場合はそもそも学連の広報の存在を知らない可能性が高い。

- ・ 目的・存在意義としては、大会の参加者の増加などによる活性化、**JSFF** の活動の見える化である。

- ・ 実際に自分が行くことができれば、大会の様子などをツイートすることができるが、実際は難しい。そこに行く知り合いにアカウント権限を渡して、代わりにやってもらうなどしないと、ツイート内容が偏りがちになる。

- ・ ハッシュタグは積極的に使っていくといい。(例：#砂丘合宿 2017 など)

- ・ **Twitter** は文字数制限がきつい。短い内容でツイートはたくさん、というような感じが良い。あと学生が見ているイメージ。**Facebook** は大会ごとにしっかりした内容の文章と写真を投稿するようなイメージ。あとこちらは社会人がよく見ていると思われる。(今年度は Fb の活動はせず)

Ⅲ 活動履歴	
4 月 新歓告知、活動広報	5 月 新歓告知、活動広報
6 月	7 月
8 月 尾神 全日本 HG 学生選手権(nasaS)	9 月 砂丘合宿 伊豆合宿(未開催)
10 月 ピンクカップ PG 新人戦	11 月
12 月	1 月
2 月 HG 龍門大会	3 月 全日本 PG 学生選手権 HG 耳納大会 HG 新人戦

Ⅳ 来年度への課題・自分がやり残したこと
<p><b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b> 自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事内容のところに割と書いてあるつもりなので、そこを読んでほしい。</li> <li>・ 出来たばかりの仕事で内容が定まってない。 基本的には良かれと思うことを進めていってほしい。</li> <li>・ 大会などに行ったときには他エリアの学生とたくさんコミュニケーションを取るとよい。 知り合いを増やそう。</li> <li>・ 自分はできなかったが、まめな更新が大事だと思う。</li> </ul>
<p><b>B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起</b> <u>日本学連の将来あるべき姿の提案</u>。問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報としては、<b>JSFF</b> の仕事がどのようなものなのか発信できることが大切ではないかと思われる。</li> <li>・ 他エリアのフライヤーとのコミュニケーションや連携がもっと取れるとよいのではないか。</li> </ul>

IV 今年度の反省点とその改善案	
反省とその影響	原因と改善提案
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投稿数が大会のある時ない時でムラがあった。アカウントの影響力が低下</li>   <li>・ <b>Facebook</b> の活動を疎かにしてしまっていた。学生はそこまで多くは見えていない印象であったが社会人プレイヤーへの広報が減ってしまっていた。</li>   <li>・ 協賛などの広報があまりできなかった。別大会で協賛を貰いやすくなる？</li>   <li>・ 広報二人での役割分担がうまくできていなかった。業務に十分でない部分が生じていた？</li>   <li>・ <b>Twitter</b> のフォロワーが少ない。発信力が足りないイメージ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大会期間以外に発信できる内容を考える必要がある。候補は天気に関する豆知識や、<b>JSFF</b> 活動に関するものなど？</li> <li>・ 忘れずにやる</li>   <li>・ 大会スタッフ(協賛)と連携を取る。こちらから持ち掛けないと多分流れるので、広報業務の中心に添えてもよいのでは。</li>   <li>・ コミュニケーション不足。会うタイミングが少なく、なかなかできなかった。<b>LINE</b> 等でもっと連絡を取り合えばよかった。</li>   <li>・ 日常的なツイートが重要か</li> </ul>

# 2017年度 HP 管理 委員活動報告書

報告者 鈴木 匠

\*委員活動報告書を書く上での注意

- ・形式は自由です。以下には例を書いておきます。後任者が見ることを踏まえて詳細で分かりやすい報告書を作成してください。
- ・いったん、提出した活動報告書を修正した場合は、配布のことを考えて、印刷して総会当日、直接持ってきてください。

## 仕事内容

日本学連のホームページの管理になります。上からの指示や要望があり次第、ホームページの内容に添削を行います。

1. 新歓ページの作成
2. 補助金申請や遠征費申請等の各種ファイルの差し替え
3. 協議規定ファイルの差し替え
4. 各大会結果をリーグページに表示
5. データベースの移行(途中段階)
6. サーバー上の不要ファイルの適宜削除

## II 今年度の反省点とその改善案

反省とその影響	原因と改善提案
リーグページの統一が成されなかった。	スキル不足。PHPに精通している人間が必要です。
データベースの移行。	移行後にエラーが発生しました。現在対応中です。やはりこちらもPHPに加え、SQL構文に詳しい人間が必要です。

## III 活動履歴

時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど

4月	5月

6月	7月
8月	9月
10月	11月
12月	1月
2月	3月
<b>その他</b> 上からの指示があり次第、それに従って動きます。サーバー費の振込みなども行う場合があります。	

<b>IV 来年度への課題・自分がやり残したこと</b>
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b> 自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は来年度役職なしとなりますが、できる限りのサポートは行いたいと考えております(残念ながらあまり力になれそうにはないですが…)。</li> <li>・来年度 HP 系の小野寺君に対しては、おおまかな管理方法を個人的に引き継ぎます。</li> </ul>
<b>B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起</b> <u>日本学連の将来あるべき姿の提案</u> 。問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP 係とリーグ係とでの、仕事の線引きが若干曖昧な点がありました(HP 係の仕事のはずがリーグ係に振られていた、など)。</li> </ul> 明確な線引きをする必要はないと思いますが、必要に応じて双方で連携が取れるのがベストだと思いました。

- 
-

# 2017年度 名簿・ML係 活動報告書

報告者 福田 峻也

\*委員活動報告書を書く上での注意

- ・形式は自由です。以下には例を書いておきます。後任者が見ることを踏まえて詳細で分かりやすい報告書を作成してください。
- ・いったん、提出した活動報告書を修正した場合は、配布のことを考えて、印刷して総会当日、直接持ってきてください。

## 仕事内容

- ・各役員の招待（3～4月）
- ・名簿の収集（締切4月中→GW明け）
- ・名簿の作成（5月中旬～5月末）
- ・名簿の修正（完成6月21日）
- ・学連役員名簿の確認・修正（8月頭）

### A 各役員の招待

- ・新規の役員をサイボウズのグループに招待する。

総会の時点ではほとんどの役員は入っていたので、名簿作成のお願いと同時に広報を行った。ただ、2019年4月でサイボウズライブのサービスが終了することなので、次々年度は別で広報をする必要があるかもしれない。

### B 名簿の収集

- ・各地区理事に各地区の名簿を作成してもらい収集する。

関東は人数・団体数が多く収集が大変のようなので、最初の提出締切（4月中 or GW明け）をもう少し伸ばしてもいいかもしれないと感じた。

### C 名簿の作成

- ・収集した各地区の名簿をまとめる。

### D 名簿の修正

- ・作成した名簿を各理事に確認してもらい、修正を行う。
- ・追加事項などの挿入を行う。

学連役員+各団体代表者（部長）のメーリングリスト、JHF/JPAの欄を追加した。

### E 学連役員名簿の確認・修正

- ・作成された学連役員名簿の確認と修正を行った。

次年度のものは現在（12～1月）スプレッドシートで作成されているが、総会前の交代の時期での作成はいい案だと思った。学連名簿完成時に再度確認は必要になるかもしれない。

II 今年度の反省点とその改善案	
反省とその影響	原因と改善提案
<ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿係が2年目だったのもあり、全体的にスムーズに仕事を進められた。</li> <li>・名簿をもとに学連費徴収を行うという広報が欠けてしまった。</li> <li>・関東地区の名簿収集が大変そう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>←最初の名簿作成のお願いの際に多少触れる。</li> <li>←第一締切日の検討。</li> </ul>

III 活動履歴	
時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど	
<b>4月</b> 役員招待 各地区名簿作成のお願い・回収	<b>5月</b> 全体名簿の作成
<b>6月</b> 名簿の修正	<b>7月</b>
<b>8月</b> 役員名簿の確認・修正	<b>9月</b>
<b>10月</b>	<b>11月</b>
<b>12月</b>	<b>1月</b> (次年度の役員名簿作成)
<b>2月</b>	<b>3月</b>
その他	

IV 来年度への課題・自分がやり残したこと
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b> 自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降、役員名簿作成とその連絡をすることになるかも（今回は理事長にしてもらった）</li> </ul>
<b>B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起</b> <u>日本学連の将来あるべき姿の提案</u> 。問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿完成時期が毎年6月末くらいだが、もうちょっと早いほうがいいのか、このくらいで大丈夫なのか。ちょっと気になったので。</li> </ul>



# 2017年度 渉外係 委員活動報告書

報告者 名草 慧 .

\*委員活動報告書を書く上での注意

- ・形式は自由です。以下には例を書いておきます。後任者が見ることを踏まえて詳細で分かりやすい報告書を作成してください。
- ・いったん、提出した活動報告書を修正した場合は、配布のことを考えて、印刷して総会当日、直接持ってきてください。

## 仕事内容

・【業務】 パラ・ハングライダーの学生大会に協賛して下さった企業・個人に向けて年賀状を作り(70~80枚)、投函する。(期限:12/25まで)

### A 年賀状のデザインを決める

- ・ネットにある無料ソフトを使って作成。実際の学生大会の写真を使う場合は素材を集めておく。

### B 宛名を入力する(書く)

- ・宛名をパソコンで入力するか手書きで書き、送る。

## II 今年度の反省点とその改善案

反省とその影響	原因と改善提案
70~80枚の年賀状の作成は想像以上に時間がかかった。筆者はこの作業に丸2日を要し、クリスマスイブをこれで潰した。	12月の頭から準備することを薦める。

Ⅲ 活動履歴	
時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど	
4月	5月
6月	7月
8月	9月
10月	11月
12月 パラ・ハングの学生イベントや大会の写真の収集 年賀状の作成	1月
2月	3月
その他	

Ⅳ 来年度への課題・自分がやり残したこと
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b>
自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。
<p>渉外係は今年度から始まった係で、正直年賀状の作成しかしてないが、後輩が大会の協賛係をしていてやるべきだったと感じたことを</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラ・ハングの学生大会の協賛の引継ぎ資料をある程度統一する。</li> <li>・パラ・ハングでそれぞれの大会で同じ企業に協賛いただく場合も多く、企業からすればパラもハングも同じ学</li> </ul>

生フライヤーとして認識していると思うので、ある程度統一した方がよいと思う。また、その企業への対応の手順や始める時期などカレンダー形式で残すと引継ぎもしやすい。

- ・協賛企業からクレームやアドバイスがあった際はパラ・ハング共に必ず情報を共有する。

今年初めて大会の協賛係として企業に電話をした後輩がいつの大会のことかもわからない、前の協賛願い電話のことを叱られており、かわいそうだった。パラ・ハング共に大会の協賛係として動いてくれている人と連絡を取り、情報を必ず共有し、まとめた方がよい。

## **B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起**

**日本学連の将来あるべき姿の提案。** 問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。

- ・大会実行委員長を大会出場経験のある3年生以上に人にやってもらう方が動きがスムーズになるように思う。2年生ではあまりにも知らないことが多すぎる。
- ・2月の龍門の学生大会はすべて平日に行ったため院生が出場できないという声があった。次回からどうするか。
- ・2月後半に龍門学生大会、3月前半に耳納学生大会の日程が最善なのかどうか。
- ・目指せ！パラ・ハング共に学生大会50人以上！ひーはー！！

**仕事内容**

- ・年間競技規定の作成業務（4月～6月）
- ・大会集計の補助

**A 年間競技規定の作成**

4～6月にかけて HG リーグ年間競技規定を作成した。ほとんどは前年度の競技規定の見直しおよび改定する作業。Skype や LINE で連絡を取りながら行った。作成にあたっては、HG 審議を中心に、HG リーグ、JHF の HG 競技委員会など、各方面の意見を取り入れた。

- (i) 用語を JHF のハンググライディングシリーズ規則に合わせた。また、各項目の内容についても見直し、必要に応じて書き換えた。
- (ii) 表記の細かい変更を行った。
- (iii) ある程度出来上がった段階でスクールのインストラクターや JHF の HG 競技委員会に送り、助言をいただいた。

**B 大会集計の補助**

参加した学生大会で、リーグの集計作業を補助した。

**II 今年度の反省点とその改善案**

反省とその影響	原因と改善提案
<p>今回、競技規定の変更点として、expert のキングポストグライダーの機体係数を見直した。</p> <p>そのことが原因でソアラブルでなくミニマムに達しなかった時に機体係数で得点差が生まれた。</p>	<p>安易なハンディを作ったことで弊害が生まれた。</p> <p>当日の条件で、機体係数を考えるなどし、最大限フェアな環境を整えられるような競技規定を作成する。</p>

**III 活動履歴**

4月	5月
----	----

年間競技規定の作成	年間競技規定の作成
6月 年間競技規定を理事会に提出	7月
8月 Nasa student cap にて集計補助	9月
10月	11月
12月	1月
2月 学生龍門大会にて集計補助	3月
その他	

<b>IV 来年度への課題・自分がやり残したこと</b>
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、競技規定の変更点として、expert のキングポストライダーの機体係数を作成した。 しかしもっと細かい調整が必要であると思われる。学生間でポイントが付く大会である以上、インストラクターやHG 競技委員会など各方面から意見を取り入れ、よりよい環境を整えられるように頑張してほしい。</li> </ul>
<b>B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起</b>

# 2017年度 HGリーグ委員 委員活動報告書

報告者 中西亮太・吉田琢磨

\*委員活動報告書を書く上での注意

- ・形式は自由です。以下には例大会当日を書いておきます。後任者が見ることを踏まえて詳細で分かりやすい報告書を作成してください。
- ・いったん、提出した活動報告書を修正した場合は、配布のことを考えて、印刷して総会当日、直接持ってきてください。

## 仕事内容

### ・主に大会での得点集計

#### 大会前日までに

- JHF のパソコンの手配
- 選手データの作成
- 前日入りしている選手のウェイポイントの入力

#### 大会当日

- 初日受け付け終了後に残りの選手のウェイポイントの入力
- 帰着申告の済んだ選手から GPS の回収
- 集計作業
- 結果の提示・GPS 返却
- 異議の受付

※v.~viiiの繰り返し

※当日エントリー、途中参加の選手がいればその都度対応する。

※年度最後の大会（2017年度は学生選手権 in 耳納）では年間リーグランキングの集計も行う。

#### 終了後

- 結果をまとめて報告

## II 今年度の反省点とその改善案

反省とその影響	原因と改善提案
<ul style="list-style-type: none"><li>・集計時に必要なケーブルがなく、集計に時間がかかってしまった。</li><li>・XCtrack 等、スマートフォンのログを取得するのに時間がかかった。</li><li>・去年度から各選手自分でウェイポイントを入れてくるようにしたが十分に伝わっていなかった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各選手に集計に必要なケーブルを提出してもらう。</li><li>・XCtrack 等、スマートフォンでログを提出する人は事前に過去のログを削除してもらう。</li><li>・今年度から各選手ウェイポイントを入れるように宣伝する。</li></ul>

Ⅲ 活動履歴	
時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど	
4月	5月 ルールの変更（審議と合同）
6月	7月
8月 nasaS(足尾)	9月
10月	11月
12月	1月
2月 全日本学生龍門大会	3月 HG 学生選手権 in 耳納
その他	

Ⅳ 来年度への課題・自分がやり残したこと
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b>
自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。
今年古いタイプの GPS がなくスムーズに集計が進んだ。 集計の仕方は覚えるのが大変なので来年度のサポートをしたいと思う。 最後に、これを書いている 2018/2/28 時点で耳納での大会がまだ行われていないことを記しておきます。

# 2017年度 PG リーグ委員 委員活動報告書

報告者 齋藤裕一

\*委員活動報告書を書く上での注意

- ・形式は自由です。以下には例を書いておきます。後任者が見ることを踏まえて詳細で分かりやすい報告書を作成してください。
- ・いったん、提出した活動報告書を修正した場合は、配布のことを考えて、印刷して総会当日、直接持ってきてください。

## 仕事内容

### 大会での記録集計

1. ウェイポイントの配布。
2. 帰着申告をした選手から GPS を預かり JHF パソコンで FsComp と GPSDump を使って集計。
3. GPS を選手に返却。
4. 仮結果の掲示。
5. 異議申し立ての受付。
6. 正式結果の告知。
7. パラ学では年間リーグ集計。

### その他

1. PG リーグ HP の更新。
2. 大会に選手の勧誘。

## II 今年度の反省点とその改善案

反省とその影響	原因と改善提案
<ul style="list-style-type: none"><li>・競技規定が十分に選手に伝わっていなかった。</li><li>・GPSの接続用ケーブルを持参している選手が少なかった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・紙媒体で大会毎に選手に競技規定を配布する。</li><li>・大会前にケーブルを持参するように伝える。</li></ul>



Ⅲ 活動履歴	
時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど	
4月	5月
6月	7月
8月 尾神 PGSC	9月
10月	11月
12月	1月
2月 パラ学	3月
その他	

Ⅳ 来年度への課題・自分がやり残したこと
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b>
自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競技規定を大きく変える可能性があります。その場合集計方法についても別途考え直しましょう。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

**B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起**

日本学連の将来あるべき姿の提案。問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。

- 
- 
-

# 2017年度 東北地区理事 委員活動報告書

報告者 田村 宏太

\*委員活動報告書を書く上での注意

- ・形式は自由です。以下には例を書いておきます。後任者が見ることを踏まえて詳細で分かりやすい報告書を作成してください。
- ・いったん、提出した活動報告書を修正した場合は、配布のことを考えて、印刷して総会当日、直接持ってきてください。

## 仕事内容

- ・業務1 東北地区の名簿作成
- ・業務2 JHF 登録補助金申請

### A 東北地区の名簿作成

(i) … 各大学と連絡を取り、大学ごとに名簿を作成した。

- ・学連名簿作成のための仕事
- ・サークル内、学連内の役職は特に間違いないように

### B JHF 登録補助金申請

(i) … JPA に入っている大学から、

- ・イベントで JHF のイベント保険を利用するために、イベント参加者全員の JHF 登録が必要。この補助金は、JPA 登録の参加者の JHF 登録費用負担の緩和が目的。

## II 今年度の反省点とその改善案

反省とその影響	原因と改善提案
<ul style="list-style-type: none"><li>・他大との連絡で不都合が生じてしまい、仕事が遅れてしまった。</li><li>・夏に開催予定だった伊豆合宿を開催できなかった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・大学ごとに、確実に連絡を取り合える人を用意する。</li><li>・夏にイベントを盛り込みすぎたのが原因で、日程調整がうまくいかなかった。冬に開催することも考えたが、現地の山では、その時期に山焼きを行っており、それに伴うサーマルの発生により、上級者限定の合宿になってしまった</li></ul>

	め、断念した。
--	---------

Ⅲ 活動履歴	
時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど	
4月 名簿作成	5月
6月	7月
8月	9月
10月	11月
12月	1月
2月 JHF 登録補助金申請	3月
その他	

Ⅳ 来年度への課題・自分がやり残したこと
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b>
自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。
・他大連絡を取り合うことが多いので、いつでも他大と円滑なコミュニケーションをとれるようにしておく

いかもしれない。

## **B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起**

**日本学連の将来あるべき姿の提案。** 問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。

・(問題提起とはまた違いますが…) パラのリーグを3大会にするために、東北学連でやってた伊豆のイベントを、日程、場所など考え直して、日本学連主催にしてはどうか。

\*委員活動報告書を書く上での注意

- ・形式は自由です。以下には例を書いておきます。後任者が見ることを踏まえて詳細で分かりやすい報告書を作成してください。
- ・いったん、提出した活動報告書を修正した場合は、配布のことを考えて、印刷して総会当日、直接持ってきてください。

## 仕事内容

- ・ A 大会の役員決定と運営補助（前年度の 12 月頃～大会 4 か月前）
- ・ B 各種イベントの役員決定と運営補助（前年度の 12 月頃～イベント 4 か月前）
- ・ C 関東学連会議の開催（5/25,7/11,12/15 に実地）
- ・ D 名簿の作成と学連費の徴収

### A 大会の役員決定と運営補助

- ・ 大会の役員決定は 2016 年の 12 月頃からまとめて決め始め、3 月頃には主な役員を決めた。
- ・ 関東学連主催の大会は、HG 学生選手権、ピンクカップ、PG 学生選手権。すべて足尾エリアの学生が運営している。
- ・ 運営補助に関しては前年度の運営担当の方が詳しいので、基本的には前年度担当だった者に連絡を取らせ直接引継ぎを行い運営してもらった。実行委員長に進捗確認を行った。

#### (i) HG 学生選手権

運営スタッフが少なかったのでスタッフに謝礼を出す試みをした。

#### (ii) ピンクカップ

今年度は昨年度の反省を生かし 10 月末に開催したため雪の心配がなかった。ホームエリアではなく十分一で開催したのだが、連絡不足や準備不足が相次ぎ十分一の方に迷惑をかけてしまった。

#### (iii) PG 学生選手権

日程決めを他エリアに意見をあおがずに決め、また告知が遅くなったため参加人数が少なくなってしまった。

### B 各種イベントの役員決定と運営補助

ツアー、安全講習会、新入生歓迎イベントなど、各種イベントの代表者を前年度の 12 月頃からまとめて選任した。連絡先や資料の共有、補助金申請等を実施した。

### C 関東学連会議の開催

今年は前期に 2 回、後期に 1 回実施した。

主な内容は大会や各種イベントの反省と、今後の大会、イベントの役員選出、その他大会の告知などエ

リア間で共有すべきことの広報の実施を行った。それに加えて、今年度は学連費の用途を大幅に変更するための会議も行った。

事前に会議する内容を伝え学連に参加する意義を伝える、学連会議へ参加するための交通費を出すなどして参加人数を増やした。

#### **D 名簿の作成と学連費の徴収**

各学連担当者から連絡があったら、名簿作成や学連費の徴収を行う。大学の数が多いため、サークルごとに担当者を選定して実施してもらう。その際、特に名簿に関しては形式が異なるようにテンプレを用意すると後々手間が省けた。

## **II 今年度の反省点とその改善案**

反省とその影響	原因と改善提案
大会での引継ぎ不足が相次いでしまった。	毎年運営する代がかわり、また前年度の役員が就活などで忙しくなり運営の補助が十分にできなかった。 学連長が引継ぎ内容をチェックし、できる限り進捗確認をして状況を把握すべきだった。
PG 学生選手権への参加人数が少なかった。	日程決めを他のエリアと相談せずに行ってしまった。 JSFFLine を活用し相談すべきだった。

## **III 活動履歴**

時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど

4 月	5 月
新歓イベントの補佐 新歓チラシの作成	関東学連会議の現地

6月	7月 関東学連会議の实地
8月 HG 学生選手権の運営補佐	9月
10月 ピンクカップの運営補佐	11月
12月 関東学連会議の实地 次年度の関東学連長の選出	1月 冬季安全講習会の实地
2月 大会の告知	3月 PG 学生選手権での運営補佐
<b>その他</b> 以上の関東学連長の仕事の仕事に加え足尾エリアの 12 大学をまとめる役割も果たす。	

<b>IV 来年度への課題・自分がやり残したこと</b>
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b> 自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会のサポートをもう少しするべきだった。引き継ぎ書類にチェックを入れて次年度の役員の負担を減らすべきだった。</li> <li>・板敷、明治の学生への連絡を忘れないよう注意。</li> <li>・なかなか負担が多くて大変だと思うけど、一人で抱え込まないように。遠慮なく先輩に相談してください。</li> </ul>
<b>B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起</b> <u>日本学連の将来あるべき姿の提案</u> 。問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。
.



# 2017年度 北陸地区理事 委員活動報告書

報告者 安藤優希

\*委員活動報告書を書く上での注意

- ・形式は自由です。以下には例を書いておきます。後任者が見ることを踏まえて詳細で分かりやすい報告書を作成してください。
- ・いったん、提出した活動報告書を修正した場合は、配布のことを考えて、印刷して総会当日、直接持ってきてください。

## 仕事内容

- ・各種イベントの把握と出欠
- ・必要書類の提出

※サイボウズ及び、グループ LINE の指示に従ってください。

## II 今年度の反省点とその改善案

反省とその影響	原因と改善提案
書類提出が遅い	お知らせはちゃんと見るように

## III 活動履歴

時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど

4月	5月
6月	7月
8月	9月 夏砂丘合宿参加
10月	11月 新人戦参加
12月	1月
2月	3月
その他	

<b>IV 来年度への課題・自分がやり残したこと</b>
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス...その他</b> 自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。
なし
<b>B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起</b> <u>日本学連の将来あるべき姿の提案</u> 。問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。
なし

## 2017 年度 関西地区理事 活動報告書

報告者 鳥居 仰

### 仕事内容

- A 大会の運営と補助
- B イベントの企画募集とその運営
- C 関西学連会議の開催
- D 名簿作成と学連費の徴収

#### A 大会の運営と補助

関西学連では砂丘合宿、HG 龍門大会、HG 新人戦を主催している。

関西地区理事としては各企画担当者の運営を補助するのが仕事である。特に、公認申請や JSFF 理事会、

JHF との連絡をとる際に、そのやり方や連絡先を教える必要がある。また企画ごとに反省点を挙げ、その

引き継ぎや学連会議での報告をする。

#### B イベントの企画募集とその運営

関西学連としてのイベント企画の募集とその運営を行う。2017 年度は初の試みとして、Zephyr、P.F.C.、RIDGE RIDERS の 3 サークル合同の新歓コンパを行った。

#### C 関西学連会議の開催

学連総会後に関西学連のサークルで会議を開き、総会の報告や関西学連の会計報告、新歓の情報交換を行う。また、関西学連主催の大会の開催前に、各 2 回ほど関西学連で運営会議を開いている。

#### D 名簿作成と学連費の徴収

各学連担当者から連絡があったら、名簿作成や学連費の徴収を行う。

## II 今年度の反省点とその改善案

反省とその影響	原因と改善提案
<u>A 大会の運営と補助</u> ・ハング新人戦 ハング新人戦と板敷スプリングフライトが今年も重なってしまった。双方の参加者が減少する結果になる。	今年の新人戦には 3 月の 3 週目か 4 週目の土日に開催するという 2 つの選択肢があった。そのどちらかに板敷スプリングフライトが重なることが予想されたため、板敷エリアの学生を通じ、大会運営者と連絡を取った。その際まだ確定はしていないがおそらく 3 週目に開催する、とのことであったので、新人戦を 4 週目にするように実行委員長に連

絡した。公認申請や宿舎の予約等の段取りの都合上、向この日程が確定するまでは待てなかった。

### Ⅲ 活動履歴

時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど

<b>4月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西学連会議開催(3月)(学連総会報告、前年度会計報告)</li> <li>・関西学連ライングループの作成</li> </ul>	<b>5月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂丘合宿運営会議(第1回)</li> </ul>
<b>6月</b>	<b>7月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂丘合宿運営会議(第2回)</li> <li>・関西学連合同新歓コンパ</li> </ul>
<b>8月</b>	<b>9月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂丘合宿開催(5日～8日)</li> <li>・航空スポーツ教室の手伝い</li> </ul>
<b>10月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・霊石山フライトフェスティバルの手伝い</li> <li>・高松空港ハンググライダーVRイベントの手伝い</li> </ul>	<b>11月</b>
<b>12月</b>	<b>1月</b>
<b>2月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本学生龍門オープン開催(19日～22日)</li> </ul>	<b>3月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハング新人戦開催(24,25日)</li> </ul>
<b>その他</b>	

### Ⅳ 来年度への課題・自分がやり残したこと

#### A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他

・関西学連主催のイベントを増やす

#### B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起

・学連費の値下げの必要性はあったのか

仕事内容

- ・業務1 新入生募集
- ・業務2 エリア整備
- ・業務3 エリアの大会(スカイカップ・高照寺カップ)開催補助
- ・業務4 広島大学との連携

A 新入生勧誘 (主に4月～5月)

## ・業務内容

- (i) 4月中旬: 大学開催の新入生向けイベントに参加、説明ブースにて勧誘を行う。
- (ii) 4月中: 体験会や体験サークル、茶話会を催し、サークル活動を知ってもらう場を設ける。
- (iii) SNS (twitter) による積極的な広報活動。

・ 今後も学生によるハングライダー・パラグライダー活動を繋げていくためには、新入生の参入と定着が必要不可欠。前年度の成果を踏まえ、今年度も広告性の高いSNSを活用した。

B エリア整備 (4月、9月、10月)

## ・業務内容

- (i) 主にランディング及びその周辺の整備。草刈り等。

C エリアの大会; スカイカップ・高照寺カップ開催補助

## ・業務内容

- (i) 選手の受付手伝い
- (ii) 会場 (テント、ターゲット等) 準備、GPS の準備、片づけの補助、レセプション会場準備
- (iii) 計測補助、記録
- (iv) 選手送迎 等

・ 意義: 学生が大会運営にスタッフとして参加することで、社会人選手との交流に繋がる。ハングライダー・パラグライダーへの理解が深まる。

D 広島大学との連携

## ・業務内容

- (i) 広島大学との合同サークルの実施。
- (ii) 連絡を取り合い、トピックの共有。

II 今年度の反省点とその改善案

反省とその影響	原因と改善提案
・サークル運営での初歩的ミスが頻発	・各役職間での連絡体制の不備が大きな原因

・情報共有の仕組みを見直すと共に、相互確認の徹底を図る

Ⅲ 活動履歴	
4月 ・新入生歓迎イベントへの参加、入学式での勧誘 ・新入生向けの茶話会、体験会、体験サークル実施 ・エリア整備	5月 ・ゴールデンウィークに初心者講習合宿実施 ・学祭の準備開始 ・広島大学との合同サークル
6月	7月 ・学祭に出店し広報活動
8月 ・OB会	9月 ・エリア整備
10月 ・エリア整備	11月 ・
12月 ・祖生ふるさとまつり参加 ・地域の児童へ向けたクリスマスフライトの手伝い ・広島大学のサークルと交流 ・総会	1月 ・来年度の新入生歓迎イベント参加の準備開始
2月	3月 ・勧誘チラシの作成 ・引継ぎ
その他	

Ⅳ 来年度への課題・自分がやり残したこと
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b> 自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。 ・自分のやるべきことを理解して、そのやるべきことの期日から逆算して行動できると余裕を持ってよい。 ・指導される方々への情報連絡を怠らないこと。ギリギリに連絡しない。
<b>B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起</b> <u>日本学連の将来あるべき姿の提案</u> 。問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。

# 2017年度 九州地区理事 委員活動報告書

報告者 中島翼

\*委員活動報告書を書く上での注意

- ・形式は自由です。以下には例を書いておきます。後任者が見ることを踏まえて詳細で分かりやすい報告書を作成してください。
- ・いったん、提出した活動報告書を修正した場合は、配布のことを考えて、印刷して総会当日、直接持ってきてください。

## 仕事内容

- ・種子島合宿
- ・学生選手権 in 耳納

### A 種子島合宿

- ・ 日程決め（2ヶ月前）
- ・ 宿泊施設の予約（2ヶ月前）
- ・ 種子島のイントラさんへの連絡  
2ヶ月前に合宿をする事の連絡、3～4週間前にお世話になる講習生や検定を受ける人数の報告。
- ・ フェリーの予約（1カ月前）
- ・ 備品の準備、イントラさんへのお土産等の買い出し(1週間前)
- ・ 使用する機体など、機材の確認（1～2週間前）

### B 学生選手権 in 耳納

イントラさんへの連絡（10月）

- ・ 第1回ミーティング（7月）
  - (1) 大会を開くにあたって基本事項の確認。
  - (2) 仕事の割り振り
  - (3) 前回大会の反省
- ・ 協賛廻り(8～9月)  
久留米市の後援を得たうえで廻るとよい。逆にこれがなければ相手にしてもらえない。
- ・ 地域への挨拶回り(8月)  
まずは久留米市へ行き後援をもらう。その後病院、警察(1月)、消防、自衛隊、空港を回る。
- ・ 書類作成
  - (I) 学連への公認申請（12月）
  - (II) JHF への公認申請、レンタルもろもろの申請（1月）
  - (III) 久留米市、八女市への後援申請（11月）
  - (IV) 協力、協賛依頼書（6月）
  - (V) パンフレット
- ・ 第2回ミーティング(2月?)

II 今年度の反省点とその改善案	
反省とその影響	原因と改善提案
<p><b>1 種子島合宿</b></p> <p>今年から合宿中にライセンスを発行していただくイントラさんが変わったため、合宿期間中の講習に対するモチベーションでイントラさんと上階生の間に意識の差が生じていた。</p> <p>結果として講習生の手本となるべき上階生としての振る舞いできておらず、イントラさんから上回生の大半がお叱りを受けた。</p> <p><b>2 学生選手権 in 耳納</b></p> <p>昨年度の反省から大会委員長や部長の役職が一人に集中していたのを複数人に分散させたが、それでも大会委員長の負担が大きい面が見られる。</p>	<p>→講習や座学、シミュレーターを行う時と、宿泊所での休憩時とのメリハリが今年度は特にできていなかった。当たり前のことだが講習だけでなく、座学やシミュレーターも行う時には常に集中して取り組まなければならない。</p> <p>→ある程度の負担があるのは仕方がないことだが、まだ分担の余地があると思う。</p>

III 活動履歴	
時系列で何をしたか、この月ぐらいから準備を始めたなど	
<p><b>4月</b></p> <p>ビラ配り</p> <p>グランドガイダンス</p> <p>山飛び見学会（新歓）</p>	<p><b>5月</b></p> <p>GW遠征（華山）</p> <p>飛び納め</p> <p>講習開始</p>
<p><b>6月</b></p> <p>講習</p> <p>大村合宿（親睦会）</p>	<p><b>7月</b></p> <p>講習</p> <p>協賛廻り</p>
<p><b>8月</b></p> <p>講習お休み</p> <p>延岡遠征（上階）</p> <p>協賛廻り</p>	<p><b>9月</b></p> <p>講習再開</p> <p>種子島合宿</p> <p>協賛廻り</p>
<p><b>10月</b></p>	<p><b>11月</b></p>



講習 平和カップ (大会) イントラの確保 協賛廻り	金御岳 (大会) 九州大会(大会) 講習仕上げ 初飛び 協賛廻り
<b>12月</b> 山飛び 忘年会 学連公認申請 (大会の) 宿泊施設の確保 大会ポスターの作製 チームユニフォーム制作	<b>1月</b> 山飛び 華山フライトミーティング(山大と合同) JHF公認申請 関係各所への協力依頼
<b>2月</b> 山飛び 当日の動きの確認 備品準備	<b>3月</b> 山飛び 学生選手権 in 耳納 新人戦(荒神)? 報告書作成
<b>その他</b>	

<b>IV 来年度への課題・自分がやり残したこと</b>
<b>A 業務の変更・追加・廃止 アドバイス…その他</b> 自分の後任に伝えたいこと。自分の役員の仕事以外でも提案してもよい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生選手権(かっぱかっふ)を今後続けていけるかについて。          現在九州支部のイントラさんが引退を考え始めており、来年度または再来年度にはサークルとして新入生の受け入れを止める可能性が高い。そのため今後学生の人数が減少していくと、九州支部として学生選手権レベルの大会を維持していくのは難しくなる。来年度の耳納での大会は規模の縮小、または中止の可能性のあることを報告しておく。</li> </ul>
<b>B 日本学生フライヤー連盟全体への問題提起</b> <u>日本学連の将来あるべき姿の提案</u> 。問題提起とその解決案。普段仕事をしていて感じたこと。どうすれば学生フライヤーが活性化するかなど。
・ ・

追記：この報告書を書いている 2018 年 2/28 時点でまだ学生選手権が行われていないことを記しておく。